

平成 27 年 第 1 回

那 須 烏 山 市 総 合 教 育 会 議 会 議 録

平成27年8月27日(木)

午後4時30分～

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
1. 開会	岩附学校教育課長が開会を宣した。
2. あいさつ	大谷市長、田代教育長が挨拶した。
3. 自己紹介	委員、事務局、書記の順にそれぞれ自己紹介を行った。
4. 議事	大谷市長が議事進行した。
1) 那須烏山市総合教育会議運営要綱(案)について	
大谷市長	1) 那須烏山市総合教育会議運営要綱(案)について議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。
岩附学校教育課長	那須烏山市総合教育会議運営要綱(案)について説明をした。
大谷市長	質疑がないかと会議に諮り、質疑がないので那須烏山市総合教育会議運営要綱(案)については原案のとおり決定してよいか会議に諮った。 (全員異議なし)
大谷市長	全員異議なしと認め、那須烏山市総合教育会議運営要綱(案)については原案のとおり決定したので、(案)を消していただくよう告げた。
大谷市長	続いて 2) 那須烏山市教育大綱(案)について議題とする旨を告げ、事務局に説明を求めた。
岩附学校教育課長	那須烏山市教育大綱(案)について説明をした。
大谷市長	質疑に入る旨を宣した。
澤村委員	現在策定されている平成23年からの市教育振興ビジョンと、今後、28年から32年の5年間を目標とした新しく策定される教育振興ビジョンについて、基本的な考え方等について変更があるか質した。
岩附学校教育課長	基本理念、基本目標、基本施策については変更することはない。具体的な事業等については、今後精査することとしているが、原則は変更しない予定である旨を説明した。
岡崎委員	現在策定されている教育振興ビジョンは、学校教育課と生涯学習課の2課により策定されているので、具体的な事業等について精査する場合には、新たに設置された文化振興課についても入れていただきたい旨を述べた。

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
岩附学校教育課長	精査の際には検討する旨を回答した。
大谷市長	他に質疑がないかと会議に諮り、質疑がないので那須烏山市教育大綱
	(案)については原案のとおり決定してよいか会議に諮った。
	(全員異議なし)
大谷市長	全員異議なしと認め、那須烏山市教育大綱(案)については原案のとおり決
	定したので、那須烏山市教育振興ビジョンを那須烏山教育大綱とする旨を告
	げた。
大谷市長	続いて 3)意見交換に入る旨を告げ、各委員から意見等を求めた。
岡崎委員	現在ある教育振興ビジョンの冊子について、平成28年度からの教育大綱、教
	育振興ビジョンとして見直す際に、新に冊子を作成するか質した。
岩附学校教育課長	見直し後に新たに冊子を作る旨を説明した。
澤村委員	本市としては、文武両道を推進しているが、運動について、小・中学校で大
	会等に参加して個人では優秀な成績を収めているが、団体の種目は弱い
	のもっと活躍してほしい。そういった観点から今後取り組んでほしい。中学
	校では部活動、小学校ではクラブ活動が中心だが、スポーツに優秀な実績の
	ある教員を採用し、指導してほしいと思う旨を述べた。
田代教育長	小・中学校の教員採用については、任命権者は県、監督、指導は市となっ
	ている。県立高校の教員では、国際大会等に出場した者を採用する例があ
	る。今後、県に小中学校の教員についてもそのような採用を要請したいと考
	えている。本市では、国民体育大会でアーチェリーの会場となる。那珂川町の小
	中学校生がアーチェリーを学んでおり、烏山高校でも盛んである旨を説明した。
大谷市長	個人種目では、先日、烏山中学校の生徒が砲丸投げで全国大会、幅跳び
	で関東大会に出場しているが、やはり団体は弱いようである。烏山高校のア
	ーチェリーは団体6人であるが、伝統的に強いようである。一方、学力について
	は、全国学力調査で栃木県は全国でも低いようである。本市においては、
	文武両道を推進するため、地方創生の一つとして力を入れて取り組みたい

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
	と考えている。また、指導力のある優秀な教員の採用等について、県に要
	望、要請していきたいと考えている。市の職員については、駅伝、野球、アー
	チェリーなどで全国レベルで活躍した人物を採用している。これらの職員には、
	母校に行って指導してもらおうなどしているが、結果が出るには時間がかかる
	かもしれない。今後も、教育、福祉、観光振興などまちづくりに必要な分野の
	中でも、教育を第1に連携して進めて行きたいと考えている旨を述べた。
阿久津委員	高等学校では学区が無くなったが、中学校では指定されている。将来的に
	は学区を無くすことができないか。子供が少なくなっており、何かに特化させ
	た学校があっても良いと思う。陸上などで市外の学校に行ってしまう生徒も
	いる。また、小規模の小学校から大規模の中学校に進学し、トラブルがある子
	供がいる旨の話を聞くが、子供によって適正があると思う。そういったことか
	らも、学区について柔軟に対応することができないか。特に女子は1学期に
	トラブルがあると、夏休み以降まで引きずる生徒がいる旨を述べた。
田代教育長	校長会等において、各学校の特色を出すよう指示をしている。学区を無くす
	のは他市町でもやっており、大規模校から特色のある小規模校に通学して
	いる児童生徒もいるようである。本市においては、特色づくりが進んだ段階
	で計画を策定し、保護者に理解を得てから実施することとなるが、今後検討
	していきたいと考えている旨を説明した。
阿久津委員	そのようになれば、市外からの就学というのものもあるかもしれない旨を述べた。
田代教育長	栃木県は全国でも学力が低いが、本市の学力が上がれば他市町から就学
	を希望する子供もいるかもしれない旨を述べた。
滝口委員	教育振興ビジョンは27年度までとなっているが、大綱もそれと連動して27年
	度までとなるのか質した。
岩附学校教育課長	27年度以降も引き続き教育振興ビジョンを大綱とする旨を説明した。
滝口委員	学力の向上では、小学校のつまづきが中学校までひきずり、学力の低い子
	と高い子の格差が大きくなる。授業ではどちらの子に合わせるかが難しいと

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
	聞いている。その他にもまったく理解できない子もおり、その子達をフォローするシステムが必要である。一旦ルールを外れるとずっとそのままになってしまう。
	新たな教育振興ビジョンを策定する際には、そういったことも含めて現場の先生方の意見を聞きながら策定してほしい旨を述べた。
田代教育長	本市では、小学校1, 2年生のクラスに学級支援員、生活支援員を配置しているが、全学年に配置したり、習熟度別のクラス分け等は難しく、今後検討が必要である。現在、通級クラスがあり、それをうまく運用しながら進めていきたいと思う。また、教員の資質向上を目指し、各種の研修等を充実させたいと考えている旨を説明した。
滝口委員	子供達の話を見ると、小学校の3, 4年生の頃から勉強がわからなくなり、そのまま引きずって中学生になってしまうようである。夏休み期間中に補習などを実施してほしいが、教員に空き時間、ゆとりの時間が無いようである旨を述べた。
大谷市長	本市では、県で廃止されたワンツープロジェクトに対応するため、教員免許のある者を1年生のクラスに配置している。また、学校教育課内に3年前からすこやか推進室を設置し、3名の職員を配置して支援が必要な子供達等の対応をしている。学校の先生方からは好評である。県には、全学年での少人数学級の要望をしている。併せて、本市で実施している英語コミュニケーション科、英語ビレッジ構想に関連して、高等学校再編の対象となっている烏山高校に英語科の設置を要望している。特別区として、幼保小中高連携を推進し、英語検定試験2級に全員合格するようになれば良いと思う旨を述べた。
岡崎委員	一貫した教育の流れは必要であり、高校卒業後のフォローも必要と思う。また、スポーツ、学力の向上について、先生方にも頑張ってもらいたい。先生方への負担も大きいと思うが、県のみではなく、市や地区の開催する研修などの機会を作ることも必要と思う旨を述べた。
田代教育長	英語コミュニケーション科などは、宇都宮大学の教授とALTを派遣してもらっている

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
	ジョイトークの社員が講師となり実践的な研修を行っている。今後、メンタル面など
	でも教育事務所にお願いして研修の場を設けたいと思う旨を述べた。
阿久津委員	烏山小学校では、3、4年生が3クラスが2クラスとなり児童の人数が増えた。そ
	の中で、騒ぐ児童がいて授業が進まないことがあるようだ。授業が進まない
	と子供達のストレスにもなる。できれば、余裕のある先生がその時期だけでも
	見てもらえるとありがたい。先生が配置されていれば落ち着くと思う。また、
	ALTについて、小規模校にもALTは配置されているか質した。
澤村委員	境小学校と七合小学校は掛け持ちであるが、授業数は同じである。大規模
	校では、切磋琢磨の機会やスポーツ等でチームが編成できる等のメリットがある。
	小規模校ではチーム編成が困難であるが、少人数のため先生がよく見てくれ
	る等のメリットがあり、烏山中学校に進学しても優秀な子もいると聞いている
	旨を述べた。
阿久津委員	現在、烏山小学校では1クラス40人であり、先生方もストレスを感じているので
	はないか。課題を出して、問題を解く時間に差があり、早く解けた子は待つ
	ている時間騒いでしまっているようである旨を述べた。
田代教育長	先程説明した学習指導員等の先生方をそういった教室に配置できないか、
	学校の中で運用できるかどうか検討する。また、騒いでしまう子供達も1人
	にすると落ち着く場合もある。次回の校長連絡会で話をしてみる旨述べた。
大谷市長	少人数の授業は学力向上に必要と思うので、地方創生戦略の一つとして検
	討したい。以前、烏山中学校が荒れていた時期があったが、教員が体当た
	りして解決したと聞いている。学校全体でそういった環境を作らせないことが
	重要である旨を述べた。
澤村委員	学校再編について、境小学校、七合小学校、江川小学校は小規模校では
	あるが、それぞれにメリットがある。しかし、境小学校の保護者や地域の一部
	からは烏山小学校と統合してほしいとの声もある。市としては今後どのよう
	に検討するのか質した。

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
大谷市長	2町の合併直後から、旧烏山町の審議会の答申を受けて統合を推進してきた。野上小学校の統合では、地区からの反対が強く対応が大変であったが今年の下江川中学校と荒川中学校の統合で一段落したところである。個人的な意見であるが、小規模校のメリットを生かすべきであり、複式学級にならない規模で行くべきと思う。しかし、中学校ではクラス替えや切磋琢磨の機会が必要であり、一定の規模は必要であると思う旨を説明した。
阿久津委員	烏山小学校と境小学校を統合すれば、3年生以上が3クラスとなり、ある程度自由なクラス編成ができるなどを保護者から聞くことがある。また、境小学校の保護者で、子供を烏山小学校に入れたいと希望したが、来られなかった旨の話聞いた。境小学校の児童が少なくなってしまうため、境小学校から烏山小学校への指定校変更の基準が厳しくなったのか質した。
岩附学校教育課長	厳しくしてはいない。きちんとした理由があれば許可している旨を説明した。
大谷市長	境小学校と烏山小学校の統合を否定するものではない。保護者、地域の大半が同様の意見であれば、それを尊重する。個人的には小規模校のメリットを生かしたほうが良いと思う旨を述べた。
阿久津委員	各学校において特色を前面に出し、保護者、子供達がその中から自由に選べるようになれば良いと思う旨を述べた。
大谷市長	境小学校では、お囃子など郷土芸能を教えている旨を述べた。
清水総務課長	烏山高校陸上部の朝連に参加しているが、指導力のある先生が顧問をしており、高校から陸上を始めて成績が大いに伸びている生徒もいる。ここ2、3年は指導が厳しいとの噂があり、部員がなかなか入らないようである。長距離では、神奈川大学の合宿に参加もしている。このまま部員が入らないと、その先生も指導できずに異動となってしまうかもしれない。また、教育部門でも良い先生がいる旨を述べた。
澤村委員	そういったことについて、もっと外部にPRをしてほしいと思う旨を述べた。
田代教育長	県内でも、烏山高校の進学率は上位である旨を述べた。

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
阿久津委員	地元の子供達には、通学に時間をかけるより勉強に時間をかけてほしい旨
	を述べた。
清水総務課長	現在、高校の先生と中学校の先生が連携して烏山高校を勧め、塩谷中、阿
	久津中や市貝町から生徒が通学している。箱根駅伝で烏山高校出身の選
	手が出るなどの反響もあった旨を述べた。
岡崎委員	烏山高校には、通学費の補助をするなど便宜を図っているので、広報誌等
	により市外にもPRをお願いしたい旨を述べた。
清水総務課長	市営バス市塙烏山線を利用している生徒は、現在17人いる旨を述べた。
大谷市長	市からの補助は、現在約120人が対象となっており、アンケートでは23人が通
	学費補助があるため烏山高校に進学したと回答している旨を述べた。
両方文化振興課長	文化振興課では、郷土資料館の建設、ジオパークの設立を検討している。今
	後、烏山高校と連携して事業を展開するため、具体的に動いていきたい旨を
	述べた。
大谷市長	文化振興課には、学芸員として自然1名、文化3名を配置しており、県内で
	も多いほうである。出前講座として烏山高校に出向き講演している旨を述べ
	た。
両方文化振興課長	烏山城跡については、東京のふるさと烏山会で講演し好評を得た。例月の
	教育委員会の際に、委員の皆さんにも説明を計画しているのでよろしくお願
	いする旨を述べた。
佐藤生涯学習課長	生涯学習課では、武道館の建設を進めており、今のところ順調に進んでい
	る。また、一般市民向けの英語塾を6月に立上げ、常勤指導員のリア・ダニエル
	さんを講師として、8クラス、83名で授業を行っている。11月からは後期クラス
	として、初級、中級と新たに上級クラスを3月まで実施することとしている。今
	後、追加募集としてお知らせ版に掲載する予定である。9月1日には、烏山
	高校の先生が見学に来る予定である旨を述べた。
大谷市長	他に意見がないかと会議に諮り、意見がないので議事は全て終了した旨を

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
	告げた。
5. その他	特になし。
6. 閉会	大谷市長が閉会を宣した。
	午後6時10分閉会